

◆ 江戸川都税事務所長賞 ◆

「未来への税のあり方」

江戸川区立清新第一中学校 3年 カーン ショエブ

税金は私たちの生活を円滑に運営するために欠かせない仕組みであるが、その内容や機能は時代と共に変わってきた。これからのより良い未来を作るために、税金についていくつかのポイントに分けて考えてみた。

まず、税金の透明性と理解のしやすさが重要になってくる。税金を支払うことは社会に貢献するための責任であるが、納税者が自分のお金がどのように使われているかが分からないと、納得感が薄れがちである。そこで、税金がどのように使われているのかを簡単に確認できる仕組みが必要である。例えば、自分が支払った税金がどこに使われているかを視覚的に示すシステムやアプリのようなものがあれば、納税者は税金の使い道を理解しやすくなり、支払いに対する意義を感じやすくなると僕は考える。

次に、税制の公平性も重要である。現行の税制では、収入によって税負担が異なるが、高収入と低収入の間で差が生まれることがある。僕の理想としては、税負担がもっと公平に分配されるべきである。例えば、高所得の人や、企業が適切な税金を負担し、逆に低所得者には減税措置を講じることで、社会全体のバランスが保たれると思うからである。

また、税制の効率化も大切である。税金がどのように使われているかの効率性も重要な課題になっている。無駄な支出を減らし、必要な分野に適切に資金を配分することで、公共サービスの質が向上すると思う。デジタル技術を活用して、行政の手続きやサービスを効率化することで、納税者はその恩恵を実感しやすくなるだろう。

更に、税金の使い道にはもっと創造的なアプローチが必要である。もし仮に僕が国会議員の一人だったら、税金を環境保護や持続可能な社会を作るために活用すると思う。地球温暖化や環境問題は全世界が直面している重要な課題である。税金を使って再生可能エネルギーの推進やエコな国づくりを進めることで、将来の世代により良い環境を残すことができる。

また、税制の改善には国民の意見をもっと反映させるのも重要な点である。税制に関する意見交換の場を設け、国民が自分の考えを提案できる機会を増やすことで、より民主的で納得のいく税制が実現できると思う。こうすることで、より良い社会を作るための基盤が築かれるだろう。

最後に、税金を通じて社会全体の幸福を追求することが重要である。税金は単なる義務ではなく、社会の発展や人々の生活の向上に貢献するための手段である。だからこそ、税制改革や税金の使い道の見直しを通じて、誰もがより良い生活を送れる社会を目指すべきではないだろうか。